日本計量新報
計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8（武蔵野ビル）
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
振替口座　00140－5－12935
購読料年間25,000円（消費税別）

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社　tel:078-918-5577
http://www.yamato-scale.co.jp/

産総研計量標準総合センター（NMIJ）
「NMIJ標準物質セミナー2018」を開催
～規制・規格における標準物質の役割～
9月6日㈭、幕張メッセ国際会議場2階国際会議室で

産業技術総合研究所計量標準総合センター（NMIJ）は「NMIJ標準物質セミナー2018～規制・規格における標準物質の役割～」を、9月6日㈭、幕張メッセ国際会議場2階国際会議室で開催する。

JASIS2018併催のコンファレンスの一環

このセミナーは、2018年9月5日㈬～7日㈮の3日間、幕張メッセ国際展示場で開催される分析・科学機器の専門展示会「JASIS2018（第7回）」の併催行事である「JASISコンファレンス」の一環。

今年度の「NMIJ標準物質セミナー2018」は水道法への対応のために構築した標準物質供給体系やその品質、土壌分析において標準物質が求められる背景や、環境分析における技能試験の活用事例等を紹介する。参加費無料。

今年度に予定されているSI基本単位の定義改定に関する動向も紹介する。

NMIJは規制や規格のなかで求められる標準物質や技能試験の品質を確保するためのさまざまな活動をしている。

【日時】9月6日㈭、10時30分～16時15分（受付：10時～）

【場所】幕張メッセ国際会議場2階国際会議室

【参加費】無料

【申込方法】電子メールで申し込む▽送信先：nmij-rmseminar2018-ml@aist.go.jp▽記載内容：タイトル「NMIJ標準物質セミナー参加」、名前（ふりがな）、所属、電子メールアドレス

【事前申込締切】2018年8月30日㈭（当日参加も可能）

【問い合わせ先】NMIJ計量標準普及センター計量標準調査室（清水由隆、島岡一博）：電話029－861－4118、電子メールnmij-rmseminar2018-ml@aist.go.jp

■プログラム（講演種別、時間、演題、講演者の順）

【開会あいさつ】▽10時30分～10時35分：藤本俊幸（NMIJ研究戦略部長）

【基礎講座】▽10時35分～11時5分：標準物質の基礎知識、羽成修康（NMIJ物質計測標準研究部門有機組成標準物質研究グループグループ長）▽11時5分～11時35分：標準物質とトレーサビリティ、北牧祐子（NMIJ物質計測標準研究部門有機基準物質研究グループ主任研究員）▽11時35分～11時55分：最近のNMIJの活動から、清水由隆（NMIJ計量標準普及センター計量標準調査室総括主幹）

【トピック】▽14時～14時45分：物理定数にもとづくキログラム・モルの新しい定義、藤井賢一（NMIJ工学計測標準研究部門首席研究員）

【主題講演】▽14時45分～15時10分：水道水質検査に用いる標準液の計量品質、井原俊英（NMIJ物質計測標準研究部門総括研究主幹）▽15時10分～15時40分：〈依頼講演〉土壌汚染対策法における標準物質の必要性、鈴木義彦（土壌環境センターテクニカルアドバイザー〔栗田工業〕）▽15時40分～16時10分：〈依頼講演〉環境測定分析における技能試験の事例紹介～日本環境測定分析協会の技能試験～、海野さと子（日本環境測定分析協会）

【閉会あいさつ】▽16時10分～16時15分：高津章子（NMIJ物質計測標準研究部門部門長）

今週の主な記事

NMIJセミナー、品工発表大会、計量行政室人事　①面
第68回計量士国家試験問題(5)　②③面
日本計量振興協会2018年度事業計画　⑤面
計工連第7回定時総会　⑤面
第16回全国計量士大会での5地区からの報告(9)　⑥面
社説、横浜市「はかってみよう！」、川崎市「計量教室」　⑦面
新製品（佐藤計量器）（東日）長野計器人事ほか　⑧面

計量行政室長に阿部一貴氏
人事

経済産業省産業技術環境局計量行政室＝▽室長阿部一貴（総務省行政評価局企画課人材育成室長）（7月9日付）【転出】▽田中睦（室長補佐、環境省大臣官房総務課へ）（7月1日付）▽吉岡勝彦（室長、経済産業省四国経済局地域経済部長へ）（7月9日付）

第26回品質工学研究発表大会
発表賞を選定

2018年6月27、28日開催の第26回品質工学研究発表大会（RQES2018S）で発表された85件の研究発表のなかから、精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞金賞・銀賞、品質工学研究発表大会実行委員長賞、品質工学研究発表大会品質工学会長賞の各賞が選定された。

6月28日、16時5分から各賞の授賞式が挙行された。

各賞の選定理由は、学会誌『品質工学』2018年10月号に掲載予定。

精密測定技術振興財団品質工学賞発表賞

【金賞】ヘミング曲げ金型における成形技術の向上（発表No.13）（長澄徹侍〔マツダ正会員〕、松村春樹〔マツダ〕、安楽健次〔同〕、中山光一〔同〕、中西康夫〔同〕、橋本智広〔同〕、上岡紀行（ヒロテック）、松野勇二〔同〕）

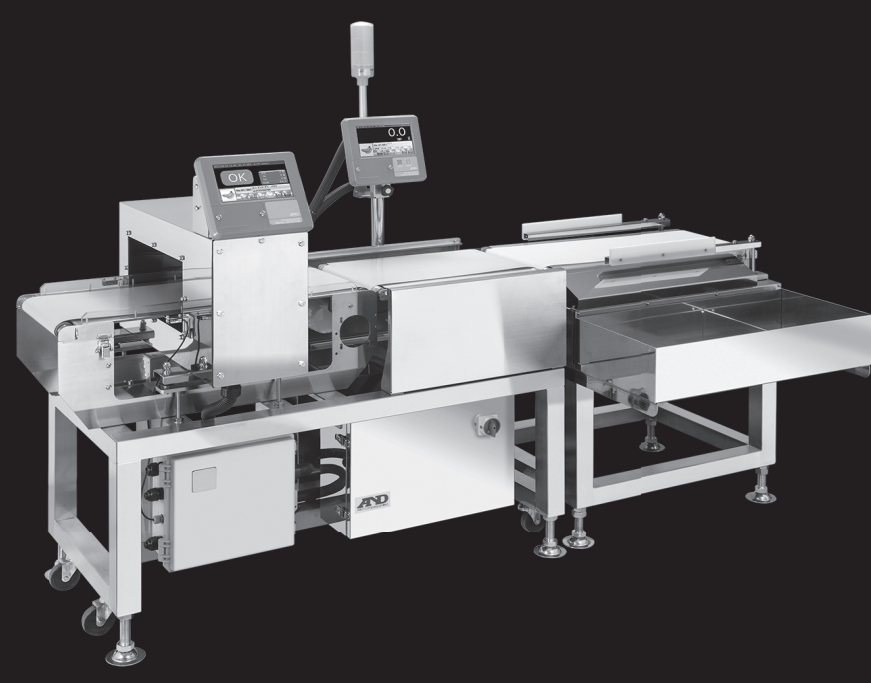
【銀賞】▽差圧評価による医療用正流・逆流バルブの技術開発（発表No.1）（発表者略）▽（以下3件まとめて1件とみなす）製造技術での品質向上の取組み第1報：溶湯工程での最適処理条件の設定（発表No.64）、同第2報：離型剤塗布工程での最適塗布条件の設定（発表No.65）、同第3報：鋳込み工程での最適鋳造条件の設定（発表No.66）（発表者略）▽ベッドサイド水洗トイレにおける圧送粉砕ユニットの研究開発（発表No.21）（発表者略）

品質工学研究発表大会実行委員長賞

▽無人化工場を実現するためのJISZ9090に基づく計測能力検証と計測信頼性向上活動（No.5）（麹谷幸久〔YKK正会員〕、中村高士〔同〕、畠山鎮〔同〕）

品質工学研究発表大会品質工学会長賞

▽燃焼反応の機能性評価によるプロセス全体最適志向の新製品開発（発表No.4）（小西洋平、野崎潔〔ニコン〕、齊藤卓一〔ニコン正会員〕）

新しいコンビ機の登場です。
新しい金属検出機、ウェイトチェッカをお届けします。

二つの新技術を一台の中に省スペースで実現
金属検出機付
ウェイトチェッカ
WCMシリーズ
A&D 株式会社エー・アンド・デイ
本社／〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 Tel.03(5391)6128(直)
札幌011-251-2753／仙台022-211-8051／宇都宮028-610-0377／東京北048-592-3111
東京南045-476-5231／静岡054-286-2880／名古屋052-726-8760／大阪06-7668-3900
広島082-233-0611／福岡092-441-6715　http://www.aandd.co.jp